

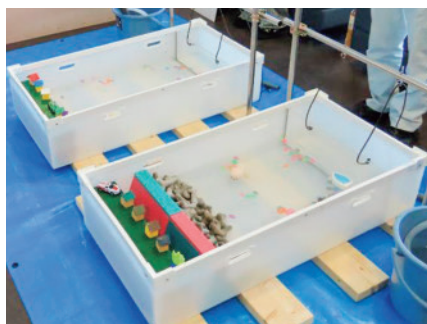
産学官連携による土木模型製作プロジェクト ～日本港湾協会企画賞受賞～

北海道開発局 函館開発建設部 函館港湾事務所

- 函館港湾事務所、函館工業高等専門学校、函館港湾事務所工事安全連絡協議会が連携して取り組む「産学官連携による土木模型製作プロジェクト」が日本港湾協会企画賞を受賞し、令和8年5月27日に横須賀市で開催された日本港湾協会定時総会の場で表彰されました。
- 本プロジェクトは令和7年度から始まったもので、港湾施設等の模型製作を通じて、学生には行政や建設業の仕事を疑似体験できる教育プログラムを提供するとともに、若手技術者には学生との協働を通じた技術力の向上を図る取り組みです。
- 模型の製作は、社会人チーム、学生チームに分かれて行いますが、各チームにおいてテーマ、コンセプトを議論し、製作する模型を決定、模型の概略設計と製作費用の算定を行った後、予算獲得ヒアリングを経て必要な予算を確保し、材料を調達して製作を行う仕組みとなっています。
- 製作した模型は、「はこだてカルチャーナイト 2025」に出展され、土木模型の説明や体験を通じて、子供たちに津波災害時における港湾インフラの重要性や港湾工事の仕組み・技術をわかりやすく伝えたほか、「はこだて防災マルシェ 2025」、「Sea 級グルメ全国大会 in あおもり」などにも出展し、多くの来場者に港湾土木の魅力を発信しました。
- 令和8年度からは、本プロジェクトに函館工業高校が加わるほか、官は函館港湾事務所から函館開発建設部へ、民は工事安全連絡協議会から(一社)函館建設業協会に移行するなど、より発展、広がりのある取り組みになりつつあります。



表彰式の様子



高専チーム製作模型
(津波に対する防波堤効果を検証)



社会人チーム製作模型
(消波ブロック据付体験)



表彰状



はこだてカルチャーナイトへの出展